

Press Release

記者発表資料



令和5年6月29日

報道関係者 各位

【府内初】 大東市防災システムと連動した防災アプリを開発 災害情報をリアルタイムでお届け ～みんなの力で命を守るために～

大東市では、この度、大東市独自の防災システムと情報連動したスマートフォンアプリ『大東市防災アプリ』を公開しました。

大東市では、これまで水と戦い、水を治め、水と親しんできたという歴史により、「危機管理の徹底」を市政の重点分野に掲げています。そこで今回の防災アプリを開発するに当たり最も重要視した点は、**災害情報が「即座に」市民伝わる**という点です。

多くの場合、災害情報は各市の災害対策本部から防災の各担当に伝わり、そこから市民に必要な情報をピックアップして、ホームページや SNS、また防災行政無線などで市民に周知するという流れになっています。

この防災アプリの一番の特徴は、大東市独自の**防災システムと「情報連動」**していることです。よって災害時には、市が把握・公開する情報がリアルタイムにアプリに反映されるため、市民の方々にとっては、災害情報をいち早く知ることができ、防災・減災への行動に移すことができます。

このような、災害本部の情報を即座に市民へ発信・共有可能なアプリの開発は**全国でも珍しい取り組み**であり、誰一人取り残さない災害情報伝達ツールとしての要になると考えています。

市民一人ひとりが自助を考えて対策を図り、大切な命を守るための支援ツールとして活用していただけることをめざし、今後はこのアプリを活用した防災訓練を推進し、危機管理の徹底に取り組んでまいります。



老若男女を問わず操作可能なシンプルな構成

■大東市防災アプリ概要

名称	『大東市防災アプリ』
開始日	令和5年5月26日
対象 OS	<iOS 版>iOS 13 以上 <Android 版>Android 7.0 以上

アプリは以下の二次元コードからインストールできます



市ホームページ



■実際の災害対応

令和5年6月2日(金)午前9時2分

大東市に大雨警報(土砂災害)が発令されたため、災害警戒本部を設置し、市内4か所の地区対策部を開設。その後、土砂災害の危険が高まったことから、生駒山側の4か所の避難所を開設。

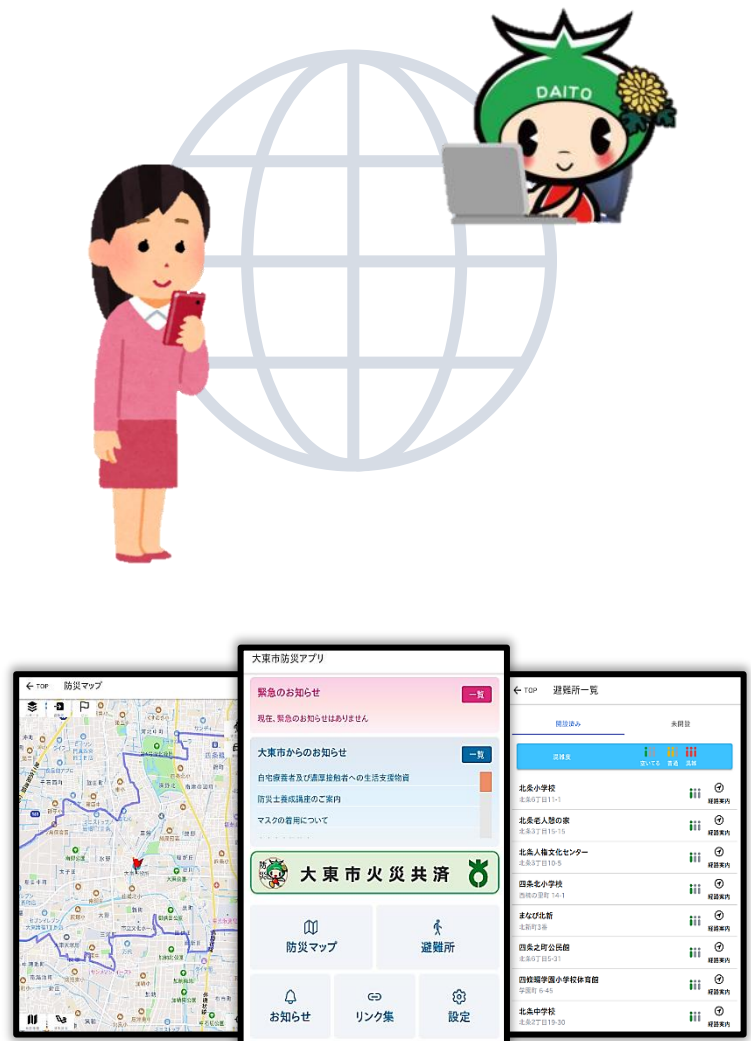
本体制から、大東市の防災システム及び防災アプリの実践導入を行いました。

緊急のお知らせによる市民への速やかな情報提供や、避難所開設、通行止めなどの市内の状況をリアルタイムで反映するなど、これまでの災害対応とは一線を画した情報伝達が実行できました。

利用者からは、「大東市の活動が確認できてよかった」(市民)、「開設中の避難所がアプリですぐさま確認できたので、高齢者等の避難をスムーズに案内できた。」(高齢者等支援者)などのお声をいただきました。

■アプリ機能のイメージ

避難所開設状況、被災状況確認、避難経路検索、緊急情報プッシュ通知、防災マップ閲覧機能 など



【お問い合わせ先】大東市 危機管理室 担当：荒木

TEL：072-889-1511 FAX：072-870-1555

防災アプリ機能一覧

- 緊急のお知らせ

緊急のお知らせがあった際に、プッシュ通知のほかアプリ上でも確認できます。

- 大東市からのお知らせ

大東市ホームページでの危機管理室からの情報がアプリ上でも確認できます。

- 防災マップ

ハザード : 災害のハザード（危険）情報が確認できます。

避難所 : 避難所・避難場所の確認ができます。

ピン : 各種ランドマーク（交番、消防署、AED）の確認ができます。

経路検索 : 徒歩、車での経路検索ができます。

地図種類 : 標準の表示のほか、衛星画像やライト（軽量）、ダーク（暗転）での表示ができます。

地形設定 : 建物や地形の表示を重ねることで、より立体的・具体的に地図の確認ができます。

- 避難所

開設済・未開設の避難所の一覧と経路案内、開設済の場合は混雑状況も確認できます。

- お知らせ

大東市からのお知らせが一覧で表示できます。

- リンク集

大東市総合防災マップなど各種防災情報ウェブサイトが確認できます。

- 大東市火災共済

大東市が行っている火災共済事業です。（緊急のお知らせがある場合は表示されません。）

- 設定

各種設定 : 位置情報やアプリの通知設定ができます。

※使用時は位置情報をオンにしてください。

アプリについて : バージョンや利用規約などの確認ができます。

利用方法

1. インストールするだけ

登録作業や個人情報の提供などは一切必要ありません。インストールするだけで簡単に利用できます。

2. 防災情報をチェック

防災マップや避難所情報を平常時・災害時に関係なく確認することができます。リンク集では様々な防災情報に関連するウェブサイトの閲覧が可能になっています。普段から災害への対策や、家庭での備蓄を行いましょう。

3. 災害時の情報取得

災害発生後の避難所開設状況や混雑状況、市内の被災状況など、市の防災システムを通じてす

みやかに防災アプリに反映されるため、最新の情報が常に確認できます。

4. 避難経路の確認

防災アプリでは市内の被災状況が確認できるだけでなく、避難所に行く際などには被災地域を避けた安全な経路の検索ができます。

5. 緊急情報のプッシュ通知

災害発生時など緊急のお知らせがプッシュ通知でスマートフォンに届きます。

■開発にあたって

当防災システムおよび防災アプリは大東市と株式会社ジャパックス（神戸市東灘区
代表取締役社長 高垣 陽一）が共同開発を実施し、株式会社 CubeEarth（大阪市北区
代表取締役会長 阿藻成彦）の独自技術である空間 ID 発行技術を利用して制作しました。
